

【 診療科:消化器外科 】  
 【 レジメン登録番号:SG-130 】

〈 Cetuximab+Encorafenib+Binimetinib療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)												
			1	2	3	4	5	6	7	.....	14				
アービタックス	500mg/m <sup>2</sup>	div	○												
ビラフトビ	300mg	p.o.	○					← 継続投与 →							
メクトビ	90mg	p.o.	○					← 継続投与 →							

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: 規定なし】

【適応癌種: BRAF遺伝子変異陽性結腸・直腸癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ポララミン 1A	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	H2Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	アービタックス 500mg/m <sup>2</sup>	div(120分で)
	生理食塩水 250mL (全量で250mLとなるように調製)	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(初回60分、2回目以降問題なければ30分に短縮可)

【参考文献: アービタックス添付文書、ビラフトビ添付文書、メクトビ添付文書、N Engl J Med 2019; 2019 381:1632-43】

【備考:

】